

東桃谷小学校・勝山小学校 学校適正配置検討会議（第2回） 会議録

1. 日時

令和6年6月10日（月）19時から

2. 場所

東桃谷小学校 多目的室

3. 出席者

(委員)

金海委員、岸村委員、北代委員、山口委員、真鍋委員、
小西委員、葭矢委員、和田委員、渡邊委員

(学校)

末綱 東桃谷小学校長

南 勝山小学校長

(教育委員会事務局)

筋原 生野区長 生野区担当教育次長

小原 生野区副区長 生野区教育担当部長

山東 教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長

徳元 教育委員会事務局指導部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長

中條 生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長

竹中 生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理兼教育政策課生野区教育担当課
長代理

木村 教育委員会事務局指導部指導主事兼総務部教育政策課指導主事、学事課指導主事

藤井 生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長

角野 生野区役所地域まちづくり課兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係員

大川 生野区役所地域まちづくり課兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係員

(傍聴) 3名

4. 議題

(1) 検討会議の進め方について

(2) その他

5. 会議資料

・次第

・資料 検討会議の進め方

6. 会議内容

(藤井係長)

- ・それでは時間となりましたので、第2回東桃谷小学校・勝山小学校学校適正配置検討会議を開催させていただきます。
- ・皆様方には何かとお忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日司会を務めさせていただきます、生野区役所地域まちづくり課の藤井でございます。それでは、開会に先立ちまして生野区長 筋原よりご挨拶申し上げます。

(筋原区長)

- ・皆さんこんばんは。生野区担当教育次長・生野区長の筋原です。本日は、お仕事やご家庭のご用事でお忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。
- ・前回の検討会議で専門部会の設定につきまして、各委員にお持ち帰りをいただきご検討をお願いしたいというところで、申し上げたところなんですけれども、その後、東桃谷・勝山両地域の委員の皆様を回らせていただき、ご説明させていただいてご意見をいただき、すべて専門部会をやる形がいいというご意見をいただき、その形を本日取りまとめまいりましたので、ご確認をいただきたいという趣旨でございます。
- ・議題のほかにもご意見・ご提案があれば遠慮なくおっしゃっていただければと思いますので、よろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。

(藤井係長)

- ・それでは、本日の会議の議題でございますが、前回の検討会議で議題にございました検討会議の進め方について、事務局の中條よりご説明いたします。

(中條課長)

- ・それでは早速ですが私からご説明させていただきます。レジメの後ろに添付しております資料をご参照いただければと思います。
- ・先ほど区長からもございましたが、前回の会議では、各検討項目、「通学路の安全対策」「校名」「校章」「校歌」「標準服」の5項目ですけれども、その意見聴取の進め方について、これまでの学校再編での事例もご紹介しまして、通学路の安全対策などは専門部会を設けて検討を進めてはいかかかということでご提案しまして、持ち帰りご検討いただき、今回の会議で決定するというようにしております。
- ・その後、事務局のほうからそれぞれ両校下の各委員にご意見を伺いましたところ、検討を進めていくうえでは検討項目すべてについて専門部会で検討するほうが良い、また専門部会は「通学路の安全対策」「標準服等」「校名・校章・校歌」の3つの部会に分けて検討するのが良い、とのご意見を多数いただきました。
- ・これを受けまして、本日は、あらためて資料のとおり、3つの専門部会を設けて検討を進めていくということでご提案させていただいておりますので、ご確認いただければと思い

ます。よろしくお願いいたします。

(藤井係長)

- ・ 専門部会を3つに分けて設けて検討を進めていくことにつきまして、なにかご意見などございますでしょうか。

【意見なし】

(藤井係長)

- ・ それでは、今後は3つの専門部会を設けて進めるということで確認いただきましたので、今後はその形で進めていきたいと思えます。
- ・ 次に、ただ今3つの専門部会を設けることが決定いたしましたので、続いて専門部会のメンバーにつきましてご確認いただきたいと思えます。資料を配布いたします。(資料配布)
- ・ 専門部会につきましては、基本的に検討会議委員のメンバーによって構成し、必要に応じ保護者や地域の方の中からお参加いただきご意見をいただくことになっております。検討会議委員の皆様には、各専門部会への出席のご意向についても事前にお伺いしておりましたので、この資料はそれを表にまとめさせていただいたものです。あらためてご確認をお願いいたします。また追加や変更などご意見ございましたらよろしくお願いいたします。
- ・ なお、検討会議委員の専門部会のメンバーのうち、保護者の委員、勝山と東桃谷の保護者の委員の方につきましては、まだ調整中という形で、これはあくまで参考資料となっておりますので、また専門部会が始まるまでに、6月中ぐらいには決定をしていきたいという形で進めておりますのでよろしくお願いいたします。ご意見はございますか。

(委員)

- ・ 丸のついているところについて、もう一度、ちょっと説明いただけますか
通学路の安全対策として、川本、和田、小西・・・と、それぞれ丸がついていたんですけど、それぞれに各自ご了承をいただいているということですか。

(藤井係長)

- ・ はい、基本的に丸のついている部分につきましては、各委員の方からご意向を伺いまして、専門部会に入られる意向ということで確認しております。

(委員)

- ・ 自主的かどうか、ぜひ参加したいという方は、今後希望すれば入れるってということですか。

(中條課長)

- ・こちらの資料は、基本的には検討会議委員のメンバーで専門部会を構成することになっているので、要は検討会議委員のどなたかには絶対に専門部会に入ってもらわないといけないということで、検討会議委員のどなたかは必ずどこかの部会に入っているということでの確認をさせていただいているんですけど、これは本日時点の調整結果ということでお伺いしている内容ですので、今後、例えば通学路の安全対策とか、地域の方にも参画いただく関係もありますので、検討会議委員の中でも地域の委員からやっぱり入ったほうがいいんじゃないかと、それは適宜おっしゃっていただければ、こちらのほうでまた調整させていただきますので、現時点のご意向をまとめたものということでご確認いただければと思っております。

(藤井係長)

- ・ほかにご意見ございますか。

【意見なし】

(藤井係長)

- ・ありがとうございました。本日、具体議題としては以上となりますが、その他といたしまして何かございますでしょうか。

(委員)

- ・いいですか？

(藤井係長)

- ・はい、お願いします。マイク使ってください。

(委員)

- ・今回、通学路の安全対策なんですけれども、あくまでこれは現在の東桃谷小のことかと思うんですけど、勝山の場合は未来学園の方に行く町会もあるんで、その辺の対策は、また別途やるんですか？それともこのままやるんですか？

(竹中課長代理)

- ・未来学園へのつなぎの部分も含めまして、勝山のほうの、通学路の安全対策の専門部会のほうで、やっていきたいと思っております。

(委員)

- ・この場ではないんですね？

(竹中課長代理)

- ・はい。見守り隊の方とかも入っていただくような会議の中で、具体的な話をしていきたいと。

(委員)

- ・ここに通う子どものことを、話し合うという意味でいいんですか。

(竹中課長代理)

- ・そうです。各専門部会、通学路の専門部会で検討した内容も、専門部会に入っておられない検討会議委員の方もいらっしゃると思いますので、この検討会議の場でも、こんな風に進んでますよというような報告を入れさせていただいて、進めていくような形に思っております。

(中條課長)

- ・今おっしゃっていただいている点について、今回の再編計画の中では、校区を分割する部分も入っていますので、この検討会議の中では議題に入っているのですが、報告はさせていただくことになると思うんですけども、実際に通学路の安全対策を検討していくにあたっては、それぞれの校下で具体の検討をしていくということをちょっと考えておまして、その中で、勝山を中心に、生野未来学園に行く方も具体的な検討をさせていただくというようなことで考えております。
- ・その中では、生野未来学園の今の実際の通学路の関係とか、その辺との調整も入ってくると思っておりますので、その辺りも勝山の方で具体的な議論をさせていただくときに一緒にご相談できればと思っております。

(藤井係長)

- ・ほかに何かご意見ございますか。

(委員)

- ・専門部会っていうのはあくまでそれぞれの分野の、具体化していくというか、深く考えていく会だと思んですけど、ただ、こうした通学にせよ、服装にせよ、校名、校章、そして校歌ももとよりなんですけど、やっぱり全体を通して総合的に考えていかないといけないところがやっぱりあると思っすよね。
- ・つまり、専門的にそれをどういう風に質問していくかということであるとすれば、やっぱり一番、こう、それぞれに共通する、大切な、方向性になるものが出てきたほうが専門部会も進めやすい気がすると思っすよね。
- ・例えば通学路っていうことになると、単純なコースだけということではなくて、安全に通学をできるようにということになってくると、たぶんそれに携わる見守り隊の方々の、例えば服装であるとか、あるいは通学路のいろんな情報、サイン、何かわかりやすい、何か道筋をとるか、つまり、子どもたちだけではなくて、町の中で通学路をどのように皆様

方に認識してもらうように安全を確保するための、視覚化っていうんですかね、そういう風ないろんな工夫ができると思うんですよね。

- ・それはすなわち単に安全だけじゃなくて子どもをみんなが見守っていく、なんか一つの、涵養していくというか、みなさんがまちづくりの中で子どもたちの安全をお互いに確保し育てていくような、そういう役割ができるようになっていくか、単にこの通学の安全をそれに携わる人たち、当事者である子どもたち、親御さん、見守り隊だけじゃなくって、何かもっと他に方法はあるんじゃないかなというのを含めて、出来るだけ総合的というか、広い視野で、検討していくということになると、服装もそうですし、校名も校章も校歌もそういうことになるかと思うんですよね。その辺をその分野だけで進めてしまうと、結局一番大切な、全体を通してどういう風な学校にしていきたいんだというような、一つの大きいビジョンというものが、偏っていくというか、縛られていくということになっていくんじゃないかと。
- ・できるだけ、前提として、どんな学校が一番いいかな、子どもたちになるのかな、あるいは子どもたちを通してまちづくりに繋がっていくのかなっていうような、ちょっと俯瞰したような形の見方があったうえで、それぞれの専門部会というものが、それを受けて実現の方法を考えていくというか、できればそういう進め方が、とも思うんですけれども。

(中條課長)

- ・ご意見ありがとうございます。この専門部会でも、いろんなご意見が出てくると考えておりまして、付けさせていただいている資料でも、専門部会と検討会議の関係性のところで記載をさせていただいているんですけれども、個別の項目についての検討は、各専門部会で、ある程度方向性を確認はしていくんですけれども、確認している内容につきましては、検討会議の方にも、途中段階で進捗状況なども共有と報告をさせていただいて、そういう意味では、俯瞰的な意見ということについても、お互いの意見の、キャッチボールというか、それぞれの会議でも議論をする中でいろんな観点が出てくると思っていますので、そういう部分を含めて、検討会議の中でも、何か足りていないんじゃないかとか、もしくは、こっちのほうに部会でも考えたほうがいいんじゃないかとか、そのようなやり方が出来たらと思っています。
- ・また、もう一点、委員からお話がありました、新しい学校がどうなっていくのかということところは、他の学校再編の会議でも出ることがあるんですけれども、我々、大阪市の方では、新しい学校がどうなっていくかということにつきまして、基本的には、現状の学校、各校長先生が学校運営されていますけれども、それぞれの学校の中で、今どういう学校で、教育目標とか特色で取り組んでいるかがあり、またそれをどうつなげていくのか、活かしていくのかみたいなところを学校間で話し合っていくことになっていきますので、そのところを学校の先生方でも考えていく中で、検討会議で出てきましたような保護者の方のご意見、地域の方のご意見も参考に、学校間で校長先生が先生方と話しながらかご検討いただくという流れになってきます。
- ・現時点でお示しできるものとしましては、現状、それぞれ分かれておりますので、各校長

先生のほうから、東桃谷小ではどういふことを特色に取り組んでいるか、勝山小もどういふ形で取り組んでいただいているか、ちょっとご紹介いただけたらと思います。

(末綱校長)

- ・失礼します。東桃谷小学校の末綱でございます。
- ・本校では、特に地域、PTAの支えを受けながら、地域総がかりで子どもたちを見ていただいている、育てていただいていると思います。
- ・本校で、どのような取り組みをやっているのかというのは、まず年間を通して、生野聴覚支援学校等の近隣の学校と連携をして交流をするという行事を行っています。
- ・また、PTAとのつながりでいいますと、1学期に、まず全体で顔合わせの会が行われて、年間を通して学年ごとの交流会があるというような地域交流等もあります。その他、PTC集会といひまして、PTA・保護者・子どもたち・教職員とで、学年ごとの取り組みを積極的に進められたり、地域の祭りや交流会なども年間を通して行われています。
- ・そういった行事もありますが、学校の中の取り組みとしまして今一生懸命やっているのは、教科・領域を問わず、主体的対話的で、深い学びをどう展開して子どもたちに意欲を持たせて学力をつけていくのかという取り組みを積極的にここ数年行っています。あと読書活動や英語教育の充実等の取り組みも進めています。
- ・また、人権教育や特別支援教育の充実であったり、集団作りもきっちりやろうということで、丁寧に取り組んでいるところでございます。
- ・具体的にどのような特色、学びの活動があるかといひますと、漢字検定や日本語検定の模試にチャレンジをしている他、毎学期、体力向上につながる色々な種目にチャレンジする等、子どもたちへ体力向上の意識づけを行っています。また、外国語活動では中学校との連携も行っています。
- ・他にもまだまだありますが、また何か気になることがありましたら、質問していただければお答えさせていただきます。

(南校長)

- ・勝山小学校の校長の南と申します。
- ・学校の教育目標は「心豊かな人間の育成」とし、ずっと変わらず心豊かな人間の育成に取り組んでいます。
- ・そのために具体的にどうするかですが、良い習慣をつける、学習習慣、生活習慣、とにかく習慣づけということに心がけています。当然、やらなければいけないこと、やるべきことをきっちりできる子どもを育てる、そういう形で取り組んでいます。
- ・学習面で特徴的な取り組みとしましては、国語力を付けるということで、文章を書く力を付けることにここ数年力を注いでおり、各学年で発達段階に応じて良い文章を左から右に時間を決めて写す、視写をしています。単位時間あたりの文字数がどれだけ増えていくかということで、視写の力をまず付けて、それから書く力につなげていくようにしています。また、教育活動の色々な場面において、書くという機会を与えており、自分の意見の発

表、感動したことや色々な行事の感想文、また悪いことをした時の反省文など、すべて書くというところで行うことで、それなりの成果は出ています。

- ・それ以外の特徴的な取組みとしては、今年で5年になりますけれど、ロボットプログラミングをやっています。ドローンも十数台そろえまして、主にベッパ君を使って、学校にロボットを導入したときにどういう活用の仕方があるかということで、まず考えさせて、それをプログラミングして実際に動かしてみるという取組みをしています。
- ・その他、学校内の先生だけの話では、やはり視野というか範囲が狭いので、出前授業という形で学校外の人に来ていただき授業をしていただいています。
- ・その中では、ユニクロの「届けよう服の力プロジェクト」で、古着を集めることによってその集めた古着を難民に送るということで、難民について学習するとともに、どういふ呼びかけをして古着を集めるか、着なくなった服をどのように今後活用していくか等、世界的な範囲で考えさせながら取り組ませています。
- ・その他、東京パラリンピック閉会式で演奏をしたバイオリニストの式町水晶さんに5年連続来ていただいています。今年も来ていただく予定ですが、色々な障がいがかかえながらバイオリニストになった、そういう話を聞きながら、実際の音楽にも親しんでもらう取組みを行っています。
- ・それから、住吉大社の禰宜の方とつながりを持つことが出来ましたので、御田植え神事でも使われた苗をつかって稲作をしたり、さらにかかしプロジェクトで、良いかかしを住吉大社に飾っていただくということもしています。
- ・とにかく、学校外のどのような方とつながりをつけるかということで、毎年いろんな工夫をしてやっている、そういうところが特徴的な取組みだと思っています。以上です。

(中條課長)

- ・ありがとうございます。教育委員会からも今後に向けてなど補足があればお願いします。

(徳元首席指導主事)

- ・教育委員会指導部の徳元と申します。今、両校長先生方からお話がありましたが、いくつかお話しいただいたのも、学校で取り組まれているそれぞれの特徴の一部だと思います。
- ・学校の子どもたちの実態や、社会に求められていること、地域の皆様のご意見等を受けて、各学校でこれまでも先生方で相談しながらいろいろな取組をしてこられたかと思いますが、今後、新しい学校を作るにあたりまして、その両校でそれぞれ取り組んでこられた良い取組は残しながら、いろいろ意見を出し合って、現状を出し合って、どういったことが子どもたちに必要なかを検討していくことが必要であると、先日の校長先生方との打合せでも確認したところです。そういった議論を両校でも重ねながら、新しい学校のどういった学校にしていくかということは今後、教育委員会も入って検討していきたいなという風に考えております。

(中條課長)

- ・ありがとうございます。
- ・現時点で新しい学校、こうなるんだというのを、パッと、大阪市の方からお示してきたら非常にわかりやすいかと思うんですけども、それを踏まえて地域の方のご意見とかをいただくという形がわかりやすいと思うんですけども、学校の方で、これから検討していくところがございますので、先ほどの繰り返しになってしまうんですけども、今後、それぞれの専門部会でのご意見なり、それから検討会議でその報告をした中でのご意見とか、いろんな形でご意見が出てくるかと思っておりますので、それをしっかりと両校もしくは教育委員会のほうにもお伝えさせていただきまして、新しい学校づくりに活かす形にさせていただきたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(藤井係長)

- ・ほかにご意見がある方はいらっしゃいますか？渡邊委員おねがいします。

(委員)

- ・こんばんは。大きく2つ質問があります。
- ・部会の件、先ほど6月中に他の人選を進めてとの説明があったんですが、これは区役所のほうで人選を進めていただけるという解釈でよろしいでしょうか。

(中條課長)

- ・検討会議の委員の方が現時点でどこの専門部会に入る意向かについては先ほど見ていただいたとおりなんですけれども、それ以外にどなたが入っていただくかとかは、専門部会で進めていくということが決まりましたので、検討会議委員以外の方、入っていただく必要があるのかどうか、保護者の方をどうさせていただくか等は、また別途ご相談させていただいて、専門部会の開催までに調整させていただきたいなと思っております。
- ・通学路の安全対策につきましては、地域のほうについては、それぞれこの間の調整でご意見をお伺いするときに、日々見守りをさせていただいている方の中でどういう方がいいかというのを、地域のほうにご相談させていただきまして、その方々につきましては一定、それぞれ校下、具体のお名前をいただいております、どの方に入っていただくかというのは一定まとまってきているところで我々としては認識しております。

(委員)

- ・勝山のPTAとして保護者にこういう募集をすとかしなくてもいいんでしょうか？
- ・正直に言いますね。6月中には絶対できないです。もしそういうご要望があるとするならば、それはなんでかという、今6月10日ですし、あと20日間という中で、今年度の行事の時期になってますし、地域との夏祭りの打ち合わせ等々、正直PTA行事がかなり混んでるという部分と、私も9時から仕事してますので、何かやるなら夜になる。時間的な物理的なことが一つ。

- ・それと、最初、人選というお話をいただいたときに、全員に募集するつもりはありませんでした。それはなかったんですけど、東桃谷さんの方から5月にアンケートを取られたというのを聞いて、我々もちょっとやらないといけないというのを。それは別に、東桃谷に先行してどうの、という話ではないんですけど。
- ・なんでそうなったかという、実際、下の子を東桃山に通わせて上の子を勝山に通わせてっていう、両方のPTAを兼ねてる保護者の方もいらっしゃるんですね、実際のところ。そういう方が、東桃山小ではアンケートが来たけど、勝山小では何も来ていないと。こういうちょっと進み方の早い遅いがある中で、私共ではこの部会の成立が終わってから、正式に考えたらいいかなというところでした。で、全然何も準備が出来ていないというのが現状です。
- ・なので、できれば、東桃谷の方でそういうアンケートを取られるという情報を事務局がかまれたのであれば、こちらにも教えていただきたい。保護者同士、東桃山と勝山なんで、お友達もたくさんいらっしゃるんで、進み具合の遅れとかがやっぱり保護者の方の不安を煽ることになるんで、極力情報は早くいただきたいのと、正直ちょっと急すぎる。
- ・先日、6月中になんとか人選をと言われたんですけど、正直そんな時間はありませんとお答えしたので、あくまで進み具合というのはもう少し調整していただきたい。我々普通に働いていますので、そういうこともご理解いただけたらと思います。
- ・部会については構わないんですけど、何人ぐらいという目安とかあるんですかね。各部会の。

(中條課長)

- ・我々も、この間それぞれの両校下の間である程度進み具合が合うというのは非常に大事なかなと思っております。貴重なご意見ありがとうございます。
- ・我々事務局としましても、もちろん、この専門部会ができる、できないは今日正式に決まった話ですので、我々事務方としてのスケジュール感として7月ぐらいを目指してということ、思いとしてはあるんですが、そこは実際これから調整させていただいて、スケジュール感をどうしていくかということも踏まえながら、ご相談させていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。
- ・人数の目安のところにつきましては、大体それぞれの校区同じぐらいの人数がいいのかなと思っておりますけれども、決まりはございません。
- ・ただ、大体の目安で申し上げますと、標準服につきましては、各校区3人ずつ程度がいいのではないのかというところなんです。
- ・それから、通学路のほうにつきましては、地域の方が入っていただける部分もございますので、保護者の方も何人出ていただくかはあるんですけれども、大体の目安で6名程度ずつぐらいかなと。ただ、先ほども申し上げましたように、実際、勝山のほうは、生野未来学園の方へ向かうのと、東桃谷の方へ向かうのと、両方をどうしていくかという議論になってきますので、実際にそこを、どなたを中心にご議論いただくか、そういうこともあるのかなと思っておりますので、そのへんは個別に、また勝山の方々に、ご相談させていた

だこうかなと思っております。

- ・校章・校歌・校名の方につきましては、だいたいこれまでの事例でいきますと、大体両校下2～3人ずつ程度かなと思っていて、合わせて4～6人くらいでお話できればと思っています。

(委員)

- ・決めるのに急ぐやつと急がないやつがあるんじゃないんですかね。
- ・例えば、校名なんかは早く決めないといろんなものがずれ込んでくるでしょう。
- ・でも通学路はそんなに何か月以内に決めなあかなくてもでもないような気がするんですけど、スケジュール感っていうのはどうなっているんですか？

(中條課長)

- ・ありがとうございます。今もうまさにご指摘いただいた通りですね、各項目によってスケジュール感というか、いつを目途にしていくかというのがございまして、通学路のほうは、まず点検をして、そこから来年度の予算要求に挙げていくべきものを、6月以降9月までくらいに、ある程度大きいものとして、課題の洗い出しをしたいなと思っています。ただ実際いろんな議論もあるかと思しますので、それもまた引き続き、それ以降もやっていくということで考えております。
- ・学校名については、校名・校章・校歌、一つの専門部会という形にさせていただいておりますけれども、まず校名につきましては年内を目途に案を1つ絞り込みするところまで行きたいと考えておまして、それを踏まえて、大阪市は学校設置条例というのがあるんですけれども、その条例改正というところにつながっていくということで考えておまして、年内を目途に考えております。
- ・校名が決まっていきましたら、そこから校章・校歌というのは、それ以降でスケジュールとしては考えているところです。
- ・標準服のほうにつきましては専門部会の開始自体は早い段階からやっというんですけれども、まず、アンケートをしたりとか、そういう手続きを踏んでいまして、作るという方向になった場合には来年度の6月ぐらいまでに決まっていけば間に合うかなと思っています。
- ・そのうえで、今申し上げたようなスケジュールの中で、大体それぞれ4回ぐらいは開く必要があるかなと、これまでの実績の中では考えておりますので、その中で、何月頃に1回目、何月頃に2回目をやっていくというようなことを、先ほどの専門部会のメンバーの方々と相談しながら決めていきたいなと思っています。

(委員)

- ・通学路と標準服についてなんですけど、これ実際学校がスタートしたらだいぶ重要なことだと思うんで、実際、次の学校の運営の方、具体的には次の校長先生とか教頭先生とか、こういう方のお考えもあるかと思うんですよね。

- ・変な話、標準服を決めたけど実際の学校生活では使い物にならないとか、そういったこともあるかもしれないというところで、次の運営の方の考えというのも重要かと思うんですけど、そういうのは入られるのかというのと、教育委員会の方かと思うんですが、実際に学校生活で、ここは譲れないというような標準服のガイドラインとか、服装についてのガイドラインみたいなものって設けられているのか、そういうのがあればそういうのを参考に、こういう標準服がいいとか、私服がいいとか、そういうのを決めていくのも重要かと思うのですが、そういうものはあるのでしょうか。

(中條課長)

- ・各専門部会を開始していくにあたりまして、校長先生方にも、お二人のいずれかは入っていただく形で予定をしております、今おっしゃっていただいているような、学校運営上どう影響があるのかないかみたいなのも含めて、意見交換をする中で、お話をさせていただき形で考えております。

(徳元首席指導主事)

- ・新校の校長・教頭についてですが、毎年度大阪市では人事の発表は3月下旬に発表となるので、これまでの新校設置でも、現校長、新校になる前の校長がそれまでの校長として議論の中に入って検討して、4月1日時点から、着任した校長先生がいろいろ判断して、教育活動を進めていくこととなります。
- ・また、標準服のガイドラインみたいなものについては、今のところこういう基準でと示しているものはなく、大体どの学校でも保護者の方や地域の声を聴きながら、最終的に標準服の各会社から案を出してもらって決定していくという形になっています。

(委員)

- ・休み期間中は、勝山は私服でいきいきに来るんですけども、かなり肌の露出がある服装であったりとか、それは何かあったときに怪我をする可能性と、こういう気候ですので、どうしても室内温度とかそういったところで調整できないとか、服装にもいろいろあるんだなという感じで、学校にはそういうのが無いのかなと一つの疑問と、日本の約7割が私服の公立と聞いてますんで、公立の小中かな、制服のところは3割しかないという統計が出てるので、調べたら、大阪市、特に生野区内はほとんど制服というのが重視されていて、いろんな理由があると思うんですけど、そういうところも踏まえて、何かこういうのが望ましいと指し示していただくと、次の部会とかも考えやすいのではないかなと。
- ・特にお子さんも体質とかいろいろあって、標準服ではなかなか調整がききづらい部分とかもあるので、そういうのを含めて考えていただけたら嬉しいなと思います。

(藤井係長)

- ・ほかにご意見ございますか。
- ・そうしましたら、本日の議事に関しましては以上となります。最後に区長からご挨拶申し

上げます。

(筋原区長)

- ・皆さん貴重なご意見を賜りましてありがとうございました。
- ・これから専門部会で、具体的な内容について検討を進めていきながら、新しい学校のビジョンにつきましても、丁寧な時間をかけながら、それを具体的な検討と一緒にリンクさせていって、いい形にできたらなと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。本日はありがとうございました。

(藤井係長)

- ・次回の検討会議の開催につきまして、今後の各専門部会の開催状況を踏まえての調整となりますが、9月を予定しております。
- ・開催日につきましては、またあらためて日程調整をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。
- ・本日はどうもありがとうございました。